



学校教育目標 自分らしく生きる力を身につけ、なかまとたくましく歩む子の育成

【目指す学校の姿】

児童・保護者・教職員みんなが笑顔の学校
児童：「わかった!」「自分らしくいられる場所」
保護者：「子どもが楽しい、好きな場所」「相談できる」
教職員：「子どもの笑顔」「子どもの成長を応援する場」
「チームワーク」「自分や家庭を大切にできる」

東郷っ子につけたい4つの力「たくましさ」

③自分の考えをもち、語る力

④失敗を恐れず、挑戦する力

①自分を知り、すきになる力 ②人を大切にして、関わっていく力

「①②の力を全ての土台とし、③④の力を身につける」ことを実践する東郷小

【福井市学校教育目標】

郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成

【福井市学校教育方針】 学びをつなぐ・未来につなげる

【本校研究主題】

「主体的に学び、生き生きとつながり合う子の育成」

重点目標

みんなで認め合い支え合う仲間づくり

- (1) 挨拶の響く学校づくり
(2) 得意は認め、苦手は励ます関係づくり
(3) 読書活動を通した豊かな人間性の醸成

「自分の考えを、自分なりの方法で、発信・実行する児童」

- (1) 「わかる!」「できる!」授業づくり
(2) 「学級活動」を児童主体の時間・場に
(3) 地域資源(人材)と東郷っ子を繋ぎ、キャリアデザインの場に

丁寧な支援と丁寧な説明で応える学校

- (1) 個に応じた支援NO.1の東郷小
(2) 積極的な学校公開と情報発信
(3) 必要に応じた丁寧な説明

具体的な取組

- (1) 挨拶でつながりを生み、安心感を高める
声の掛け合いを通して、自己肯定感・所属感を高める。
(2) 縦割り交流の活性化
縦割り交流活性化で「小さい子にやさしくする」「上の子にやさしくしてもらう」経験を幾重にも積み重ねる。
(3) 読書活動を通して、豊かな読書経験を積み重ねる
読み聞かせや一人読み等の読書活動を通してじっくり落ち着いて読む、多様な登場人物の心情にふれる等の経験を積み重ねる。

- (1) 基礎基本を大切に、自己肯定感を高める授業の工夫
「東郷っ子につけたい力」を念頭に、学習効果の最大化を図る。
・学習活動の見通しをもつとともに学ぶ意欲を高める課題設定
・指導の個別化、学習の個性化による個に応じた学習の展開
・学び合いの中でのICT機器の効果的な活用
・自分の考えを明確に伝える活動の設定や対話活動の支援の工夫
(2) 児童が、学校生活での自分たちの課題を自分たちで解決する
「生徒指導(ルール)」「安全」「食」「保健」「異学年交流」等の課題を、児童の実態や現状、年間行事等と絡めて学級・学年・全校で考え、「自分たちで気づき、決め、実行する児童集団」を目指す。
(3) 地域資源と東郷っ子を繋ぐ教育活動の展開
豊かな地域資源(人・もの・こと)を活用することで、ふるさとの魅力やふるさとへの愛着心をもたせると共に、課題に気づき解決する方法を学び、その成果を地区内外に発信する。

- (1) チーム対応で児童を必要な支援に繋ぐ
・全方向からの気づきと即相談
・保護者・外部との連携、具体支援&改善
・教科担任制を各学年で(発達段階に応じて)実施、多様な視点からの見取り
(2) 東郷小の魅力発信と丁寧な説明
・教育活動を家庭や地域に学校日よりやHP等で積極的に情報発信。必要に応じて丁寧な説明を実施。

数値目標

- 家族や友達・地域の人に挨拶をしている児童95%以上
○自他を大切に認め共に取り組んでいる児童90%

- 学校が楽しいと答える児童95%以上
○学校の考えが適切に伝えられていると感じる保護者90%以上
○学校全体で児童理解・支援につなげたと考える教師100%

- 最後まで意見をはっきり話す児童90%以上 ○児童につけたい力を意識して、教育活動を計画・実践・評価をした教師100%
○将来の夢や目標をもっている児童85%以上 ○郷土福井(東郷)を大切にしたい児童95%以上 ○教育目標や児童につけたい力について理解した保護者90%以上

R8業務改善の取組 ◇年間の業務推進日を保護者に知らせ、理解を得る ◇組織対応で個人負担削減 ◇会議、業務、行事のスリム化
◇地域やPTAにお願いできることを提案、協議、実践 ◇積極的な年休の消化と教員の退庁時刻の目標設定(自己マネジメント)